

教科	体育	単位数	2単位	学年	3学年
使用教科書	現代保健体育 改訂版 (大修館)		副教材等		現代保健ノート 改訂版 (大修館)

1 学習目標

運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。

2 指導の重点

実技を通じて集団行動・個人の役割意識を育成する。
毎時の補強運動による基礎体力の向上を図る。
多種目を学習させることで運動・スポーツに対する興味関心を養う。

3 指導計画

月	単元名	主要学習領域	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	体づくり運動	体づくり運動		7	評価なし
5	陸上競技	走・跳・投	短距離走・持久走	9	学習への取り組みと種目別換算表による換算点などから総合的に評価する。
6	体育理論	体育理論	生涯スポーツの見方・考え方	1	・授業態度・発問評価 ・プリント、課題の内容・提出状況
			スポーツ科学のすすめ	1	
7	選択Ⅱ	屋外球技 陸上競技	テニス ソフトボール サッカー フットサル(女子) 陸上競技	12	各種目別にグループ学習とその取り組みおよび試合形式による競技成績などから総合的に評価する。
9					
10	持久走	持久走	持久走	10	種目の総合的な学習とその取り組みおよび試合形式による競技成績などから総合的に評価する。
11	体育理論	体育理論	スポーツにかかわる職業	1	・授業態度・発問評価 ・プリント、課題の内容・提出状況
			ライフスタイルに応じたスポーツ	1	
12	選択Ⅱ	屋内球技 ダンス	バドミントン 卓球 フットサル ダンス	10	各種目別にグループ学習とその取り組みおよび試合形式による競技成績などから総合的に評価する。
1	選択Ⅲ	屋内球技	バスケットボール 卓球 フットサル ダンス	10	各種目別にグループ学習とその取り組みおよび試合形式による競技成績などから総合的に評価する。
	体育理論	体育理論	日本のスポーツ振興 スポーツと環境	1 1	
2					
3					

64 時間(55分授業)

4 評価規準と評価方法

関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を持ち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組むことができる。	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身に付けている。	選択した運動の技術(技)の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代スポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。
授業態度や学習活動への参加状況等の授業への取り組みや、各種目の競技成績などから総合的に評価を行います。			

教科	体育	単位数	3単位	学年	2学年
使用教科書	現代保健体育 改訂版 (大修館)		副教材等	現代保健ノート 改訂版 (大修館)	

1 学習目標

運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。

2 指導の重点

実技を通じて集団行動・個人の役割意識を育成する。
毎時の補強運動による基礎体力の向上を図る。
多種目を学習させることで運動・スポーツに対する興味関心を養う。

3 指導計画

月	単元名	主要学習領域	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	体づくり運動	体づくり運動		10	評価なし
5	陸上競技	走・跳・投	短距離走・持久走・円盤投げ・ハードル	11	学習への取り組みと種目男女別換算表による換算点などから総合的に評価する。
6	屋外球技	屋外球技	サッカー(男子) ソフトボール(女子)	12	各種区別の発展的な学習とその取り組みおよび試合形式による競技成績などから総合的に評価する。
7	体育理論	体育理論	スポーツの技術と戦術 技術の上達過程と練習	1 1	・授業態度・発問評価 ・プリント、課題の内容・提出状況
9	陸上競技 武道 テニス	陸上競技 武道 テニス	持久走・柔道(男子) 持久走・テニス	30	各種区別の発展的な学習とその取り組みおよび試合形式による競技成績などから総合的に評価する。
10					
11	体育理論	体育理論	効果的な動きのメカニズム 技能と体力	1 1	・授業態度・発問評価 ・プリント、課題の内容・提出状況
12	選択Ⅰ	屋内球技 ダンス	バドミントン 卓球 フットサル ダンス	14	各種目別にグループ学習の導入とその取り組みおよび試合形式による競技成績などから総合的に評価する。
1	選択Ⅱ	屋内球技	バスケットボール バレーボール バドミントン 卓球	13	各種目別にグループ学習の導入とその取り組みおよび試合形式による競技成績などから総合的に評価する。
2	体育理論	体育理論	体カトレーニング 運動やスポーツでの安全の確保	1 1	・授業態度・発問評価 ・プリント、課題の内容・提出状況

96 時間(55分授業)

4 評価規準と評価方法

関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を持ち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組むことができる。	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身に付けている。	選択した運動の技術(技)の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代スポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。
授業態度や学習活動への参加状況等の授業への取り組みや、各種目の競技成績などから総合的に評価を行います。			

教科	体育	単位数	3単位	学年	1学年
使用教科書	現代保健体育 改訂版(大修館)			副教材等	現代保健ノート 改訂版(大修館)

1 学習目標

運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。

2 指導の重点

実技を通じて集団行動・個人の役割意識を育成する。
毎時の補強運動による基礎体力の向上を図る。
多種目を学習させることで運動・スポーツに対する興味関心を養う。

3 指導計画

月	単元名	主要学習領域	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	体づくり運動	体づくり運動		10	評価なし
5	陸上競技	走・跳・投	短距離走・持久走・円盤投げ・ハードル	10	学習への取り組みと種目男女別換算表による換算点などから総合的に評価する。
6	屋外球技 器械運動	屋外球技 器械運動	サッカー(男子) ソフトボール(男子) 器械運動(女子) テニス(女子)	11	各種区別の段階的な学習とその取り組みおよび試合形式による競技成績などから総合的に評価する。
7	体育理論	体育理論	人間にとって「動く」とは何か スポーツの始まりと変遷	1 1	・授業態度・発問評価 ・プリント、課題の内容・提出状況
9	屋外球技 屋内球技 器械運動	屋外球技 屋内球技 器械運動	ソフトボール(男子) サッカー(男子) サッカー(女子) 器械運動(女子)	11	各種区別の段階的な学習とその取り組みおよび試合形式による競技成績などから総合的に評価する。
10	武道 屋内球技 屋外球技	武道 屋内球技 屋外球技	柔道(男子) バレーボール(男子) テニス(女子) サッカー(女子)	11	各種区別の段階的な学習とその取り組みおよび試合形式による競技成績などから総合的に評価する。
11	武道 屋内球技 I ダンス	武道 屋内球技 I ダンス	バレーボール(男子) 柔道(男子) ダンス(女子)	13	・各種区別の段階的な学習とその取り組みおよび試合形式による競技成績などから総合的に評価する。 ・ダンス:グループ学習での課題への取り組みと課題の発表などから総合的に評価する。
12	体育理論	体育理論	・文化としてのスポーツ ・オリンピックと国際理解	1 1	・授業態度・発問評価 ・プリント、課題の内容・提出状況
1	器械運動 屋内球技 II	器械運動 屋内球技 II	器械運動(男子) バスケットボール(男子) バスケットボール(女子)	13	各種区別の段階的な学習とその取り組みおよび試合形式による競技成績などから総合的に評価する。
2	屋内球技 II 器械運動	屋内球技 II 器械運動	バスケットボール(男子) 器械運動(男子) バレーボール(女子)	11	各種区別の段階的な学習とその取り組みおよび試合形式による競技成績などから総合的に評価する。
	体育理論	体育理論	スポーツと経済 ドーピングとスポーツ理論	1 1	・授業態度・発問評価 ・プリント、課題の内容・提出状況

96 時間(55分授業)

4 評価規準と評価方法

関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を持ち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組むことができる。	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身に付けている。	選択した運動の技術(技)の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代スポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。
授業態度や学習活動への参加状況等の授業への取り組みや、各種目の競技成績などから総合的に評価を行います。			